

山武市総合計画審議会 会議録

会 議 名 称		令和7年度第1回山武市総合計画審議会
開 催 日 時		令和7年8月6日（水） 開会：14時00分 閉会：16時10分
開 催 場 所		山武市役所第5会議室（新館3階）
議 長 氏 名		金子 光 委員
出 席 者 氏 名		別添「出欠者名簿」のとおり （15名）
欠 席 者 氏 名		川島 由衣花委員、鈴木 章浩委員 布留川 芳子委員、吉野 麻梨委員（4名）
事 務 局 氏 名		別添「出欠者名簿」のとおり
会 議 事 項	次 第	会議結果 6 （1）原案により決定 （2）原案により決定
	1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 市長あいさつ 4. 委員・職員の紹介 5. 会長及び副会長の選出 6. 議題 （1）第3次山武市総合計画の進行管理について （2）第4次山武市総合計画策定方針について 7. そ の 他 8. 閉 会	
会 議 経 過		別添「会議経過」のとおり
会 議 資 料		・ 令和7年度第1回山武市総合計画審議会 次第 ・【別 紙】資料等の概要について ・【資料1－1】第3次山武市総合計画の達成状況〔令和7年7月現在〕 ・【資料1－2】令和6年度施策・基本事業評価結果 ・【資料1－3】重点分野成果状況一覧表 ・【資 料 2】第4次山武市総合計画策定方針 ・【参 考 1】山武市総合計画条例 ・【参 考 2】山武市総合計画審議会運営要綱 ・【参 考 3】山武市総合計画審議会 委員名簿 ・第1回山武市総合計画審議会 座席表

その他必要事項	署名委員の指名		小川 真実 委員	内山 達也 委員
会議録の確定				
確定年月日		署名委員		
令和7年10月2日		小川 真実		
		内山 達也		

(会議経過)

発 言 者	発言内容 ・ 意見
石田企画政策課長	【１．開 会】 【14 時 00 分】 定刻になりましたので、ただいまより、令和 7 年度第 1 回山武市総合計画審議会を開催させていただきます。 本日の司会を務めさせていただきます、企画政策課の石田でございます。よろしくお願い申し上げます。 本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 それでは、早速ですが、お手元の次第に基づきまして、進めさせていただきます。
石田企画政策課長	【２．委嘱状交付】 次第 2 「委嘱状交付」でございます。 審議会の委員の皆さまへ、総合計画審議会委員として、委嘱状を交付させていただきますと思います。 本来であれば、市長からお一人ずつ直接お渡しさせていただきたいところがありますが、時間にも限りがございますので、各委員のお手元に配付させていただいています。委嘱期間としましては、令和 7 年 8 月 6 日から令和 9 年 3 月 31 日までとなります。 よろしくお願いいたします。
石田企画政策課長	【３．市長あいさつ】 続きまして、次第 3、市長からご挨拶を申し上げます。松下市長、よろしくお願いいたします。
松下市長	市長の松下でございます。本日は、ご多忙の中、また非常に暑い中、ご臨席を賜りまして、ありがとうございます。 本日 8 月 6 日は広島原爆の日、あの日から 80 年が経ち、当市としても国旗・市旗の半旗を掲げ、世界の平和への祈り、並びに核なき世界へ向け共に取り組んでいくというメッセージを込めております。 委員の皆さま方には、総合計画審議会委員の委嘱状を机上配布という形で交付をさせていただきました。

松下市長

本審議会におかれましては、総合計画に基づくまちづくりを進めていくうえでの進行管理や、第4次総合計画の策定に関する調査審議を担っていただくこととなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第3次総合計画は、令和5年度から令和8年度を計画期間としており、今回は計画期間2年目である令和6年度の達成状況を皆様にご説明させていただきます。

また今年度は、次期総合計画である第4次総合計画の策定に向けて動き出す年であり、今年度と来年度の2か年で策定を進めてまいります。

また、総合計画はまちづくりの最上位の計画ですので、計画の進行管理や調査審議をしていただく本審議会は、非常に重要なものであると認識しています。

本日は、多分野にわたる見識を有する委員の皆さま方から、忌憚のないご意見を賜りたく考えております。

よりよい山武市のまちづくりに向けて、有意義な審議の場となることを期待しまして、私からのあいさつとさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

【4. 委員・職員の紹介】

ありがとうございました。

続きまして次第4「委員・職員の紹介」です。

委員の皆様のご紹介でございますが、私からお名前を読み上げさせていただきます。その際、恐縮ではありますが、自席にてご起立をお願いします。

では、事前に配布しております「委員名簿」の順にご紹介させていただきたいと思いますので、併せてご覧ください。

＝委員紹介＝

以上、19名の方に、山武市総合計画審議会の委員をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。続きまして、職員の紹介をさせていただきます。

＝職員紹介＝

以上が、山武市職員の紹介となります。

石田企画政策課長

石田企画政策課長	そして私は企画政策課の石田でございます。改めまして、よろしくお願いいたしますします。
石田企画政策課長	【５．会長及び副会長の選出】 続きまして、次第５「会長及び副会長の選出」に入るところですが、その前に、本日の出欠状況をご報告申し上げます。 本日の審議会ですが、「山武市総合計画審議会運営要綱」第３条第２項にて、「審議会は委員の過半数が出席しなければ会議を開くことはできない」と規定しております。 本日は、委員総数 19 名に対し、15 名のご出席をいただいております、過半数を超えていますので、会議は成立することをご報告いたします。 それでは、「会長及び副会長の選出」でございますが、「山武市総合計画審議会運営要綱」第２条第１項にて、「審議会に、会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する」とあります。 それでは、本件につきまして、決し方に案がある方がいらっしゃれば、お願いいたします。
戸村委員	大変恐縮ではございますが、事務局に案がございましたら、ご提案いただきたいと思います。よろしくお願いします。
石田企画政策課長	ただいま戸村委員より、事務局に案があるかどうかのご発言がありました。事務局から、案を発表させていただいてよろしいでしょうか。 ＝異議なし＝ ありがとうございます。それでは、事務局からお願いします。
事務局	それでは、事務局の案というご意見でございましたので、事務局案を発表させていただきます。 平成 29 年度から山武市総合計画審議会が常設化され、８年間開催させていただいております。今年度と来年度の２年の任期となりまして、第３次総合計画の進行管理、第４次総合計画の策定を行っていただくこととなります。

事務局	そこで、第3次総合計画の策定時に会長、副会長を務めていただいた、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員であります、金子光委員、山武市商工会会長であります、大高衛委員にそれぞれお願いできればと考えております。 以上を、事務局案としてご提案申し上げます。
石田企画政策課長	ただいま、事務局から発表がありました案としては、会長に金子委員、副会長に大高委員とのことでした。 皆様、ご賛同いただけますでしょうか。 ＝異議なし＝ ありがとうございます。全会一致ということで、承認されました。 それでは恐縮ではございますが、この後の議事につきましては、「山武市総合計画審議会運営要綱」第3条第1項にて、「会長が会議の議長となる。」と定められております。 金子委員、大高委員につきましては、会長席、副会長席にそれぞれお移りいただきまして、会長、副会長から、一言ずつご挨拶を頂ければと存じます。 では、金子委員、大高委員、ご移動をお願いいたします。 ＝会長及び副会長の移動＝ それでは、金子会長、大高副会長から一言ずつご挨拶をお願いいたします。
金子会長	皆さんこんにちは。改めてよろしくお願いいたします。 私、山武市にお世話になってから今年で13年が経ちます。その間、まちづくり報告書の知見を毎年書かせていただいております。また、現在委員としては、この総合計画審議会、外部評価委員会そしてさんぶの森元気館あり方検討委員会の3つの委員を務めております。 本日、冒頭に3つお話させていただければと思います。 まず、私13年も山武市にご縁がありますが、先日初めて山武市に宿泊いたしました。今まで会議が終わったらすぐ帰って、夜6時以降の山武市を見たことがなかったのですが、初めて宿泊して星がとても綺麗だな、東京の30倍は多く見えるなと思いました。また、非常に熟睡できました。

金子会長	それだけ街が静かなんだと感じ、逆に言えば東京がいかにも朝早くから夜中まで騒音があるかと気付かされました。二拠点居住先として非常に良い場所なんだと考えるに至りました。 やはり宿泊することによって街の良さに気付くこともあると、私自身も気づき、宿泊するにはどうしたら良いか、では一度来ていただくにはどうしたら良いか、山武市の何を知っていただければ交流人口が増えるかなど、今回宿泊したことを機会に、山武市を知ってもらうきっかけとは何かを改めて考える機会となりました。 2つ目としては、先日7月26日に行財政改革外部評価委員会が開催され、議論を行いました。同日、蓮沼では山武市サマーカーニバルが開催されており、また、同時に大木の夏祭りも開催されていました。 サマーカーニバルは現代的、国際的なお祭りで市外から多くの来場者が来ており、一方、大木の夏祭りは地域に根付く、手作り感満載のお祭りでした。 新聞やテレビで取り上げられるサマーカーニバル、地域のおじいちゃんおばあちゃん、子どもたちが楽しむ大木の夏祭り、一方で、街の何を残し、何をなくすかを議論する外部評価委員会、これら3つが同時に行われた7月26日の山武市を、西洋美術の巨匠、ピカソだったらどう描くか考えてみました。おそらくピカソだったら、これら3つが立体的に渾然一体となった絵になるのではないかと考えました。 そこから、この総合計画審議会においても、山武市を平面的ではなく、奥行きのある山武市をそのまま捉えて、その良さを引き出すような議論ができればと考えました。 3つ目としては、近年、公共政策関係の学会で、何か政策を議論する上で、理論知、実践知、経験知の3つの知見が重要だと言われています。 政策は経験知を活かし行政主導で進められてきましたが、今日お集まりの各業界で活躍されている皆さんは、まさに街の実践知をお持ちの方々が集まっております。そして、学識経験者という理論知をお持ちの方々も集まっております。 どの政策に対しても、理論知、実践知、経験知が化学反応を起こして、新たな価値を創出して街の方向性を創っていくことが重要だと思います。 山武市の中で、これだけ様々な業界の最前線で活躍されている方々が集まる会はここだけではないかと思しますので、ここでの議論を通し、新たな山武市のデザインを考えていけたらと考えております。 よろしくお願いいたします。
------	---

石田企画政策課長	続きまして、大高副会長よりお願いいたします。
大高副会長	ただいま、副会長にご選任をいただきました、大高と申します。 現在、山武市商工会の会長も務めております。 今日の気温のようにここまで暑くなると、生活様式などいろいろなことが様変わりしていくような気がします。そのようなものにも対応していきながら、金子会長の下、皆さま方とより良い審議会になるよう努めてまいりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。
石田企画政策課長	ありがとうございました。 では、続いて議事に移りたいと思いますので、山武市総合計画審議会運営要綱に基づきまして、金子会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。
金子会長	【6. 議題】 それでは、早速ですが議題を進めて参りたいと思います。 会議に先立ちまして、「山武市総合計画審議会運営要綱」第4条には、会議録を作成し、この経緯・結果について、出席委員のうち議長が指名する2人が署名しなければならないと、定められております。 こちらにつきましては、委員名簿の順に、各回順番にお願いしたいと思います。では、昨年度までの署名の状況を踏まえまして、大変恐縮ですが、小川委員、内山委員のお二人方をお願いいたします。 なお、本審議会終了後、会議の結果は会議録としてまとめ、市ホームページ等で公開する予定となっております。各委員には、後日、事務局から会議経緯について確認依頼があると思いますので、よろしくお願いします。
金子会長	【6. 議事（1）山武市総合計画の進行管理について】 それでは、次第に従い、6. 議題に入らせていただきます。 「（1）山武市総合計画の進行管理について」となりますが、事務局から資料に基づいて説明いただきたいと思います。 その後、この議題に対する質疑応答を行うという形で、議事を進めていきたいと思います。 では、事務局から説明をお願いします。

事務局	現在の第3次総合計画は令和5年度から令和8年度までを期間とし、市のまちづくりにおける最上位計画となっています。 今回の会議では、第3次総合計画の2年目、令和6年度の評価結果の報告をさせていただきます。 はじめに、今回、新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、山武市総合計画の構成、特徴について、簡単にご説明いたします。第3次山武市総合計画の冊子をご覧ください。 8ページをご覧ください。 こちらでは、「3. 総合計画の実現に向けて」として「(1) 行政経営（PDCA）サイクルに基づく計画策定・進行管理」について説明をしています。 総合計画は、図の中心の三角形に示しているように、計画の上位から、基本構想、基本計画、実施計画の3つで構成されています。 山武市では、総合計画の進行管理に、計画 plan→実行 do→評価 check→改善 act の4つの過程で構成されるPDCAサイクルという、行政評価の考え方を取り入れています。 総合計画審議会は、条例の規定により「市長から諮問を受けた基本構想及び基本計画の策定又は変更に関する事項について調査審議し、その結果を市長に答申すること」及び「基本構想及び基本計画に基づく施策の進行管理に関する事項について調査審議すること」を所掌しております。 PDCAサイクルにおける、「P・計画」と「C・評価」の項目の一端を担っていただいております。審議会からいただきました答申や意見に基づき、市が事業等を実行しております。 続いて、9ページをご覧ください。 「(2) 成果指標に基づく進行管理の方法」についての説明となります。 山武市の総合計画の特徴としては、「施策」「基本事業」「事務事業」の各階層それぞれに、「めざす姿」の達成度を、数値で測るモノサシとして、成果指標を設定し、施策や事業の達成度を市民に分かりやすく「見える化」していることにあります。 本日は、このうちの基本計画を構成する「施策」と「基本事業」の評価結果の報告となります。
-----	---

事務局	【資料１－３】「第３次山武市総合計画重点分野成果状況一覧表」をご覧ください。 山武市では、現状を維持するような事業ではより効率的な運営を行うことで捻出した資源を、事業拡大など投資が必要なところに配分し、政策実施にあたっています。 この事業拡大など投資が必要なところを「重点分野」として設定しています。【資料１－３】は山武市として、重点分野の状況をまとめたものとなります。 １ページをご覧ください。 ページの上部、見出し部分の左側に施策名、基本事業名、基本事業における取組内容を記載してあります。右側には、重点分野としての選定視点を示しております。こちらは総合計画書の４２ページから４５ページに掲載してあるものと対応しています。 中段には「基本事業の成果指標の実績」として、重点分野に設定されている基本事業の成果指標について、令和５年度と６年度の実績値、対基準値と対前年度への評価、そして達成状況などを記載しています。 対基準値と対前年度への評価区分は、向上およびやや向上の横ばいが「晴れマーク」、やや低下の横ばいが「くもりマーク」、低下が「雨マーク」となっています。比較不可のものについては「－」となっています。 「駅周辺の利便性の向上」の成果指標、「駅周辺の利便性に対する満足度（駅利用者のみ）」におけるめざそう値は、６４．０％となっています。 令和５年度の満足度は６４．３％、令和６年度の満足度は６１．１％であり、基準値と比較して０．９ポイント減少し、また前年度よりも数値が低下しています。 要因といたしましては、成東地域以外の地域で駅前の利用方法や活用方法等が駅利用者のニーズに対応できていないことが、満足度が低下した要因と考えられます。 評価欄の右側には、指標値の動きを折れ線グラフで示しています。グラフは、基準値を起点として令和８年度のめざそう値まで赤の点線でまっすぐ結んだものと、水色の実線は実績値を表しています。 達成状況は、基準値を下回ったため「低」としています。
-----	--

事務局	達成状況については、「達成」「高」「中」「低」の4段階で評価を行っています。4段階評価のおおよその基準は、「達成」はめざそう値を達成、「高」は、めざそう値の75%以上、「中」は50%から75%、「低」は50%未満としているところです。 ページの下部には、この施策を達成するために、市が取り組む、実際の事務事業の実績などを示しています。事務事業の指標が好転していけば、その上位にあたる基本事業の指標も好転し、さらには施策の指標も好転していくという好循環ができるように、事務事業の見直しも実施しています。 2ページをご覧ください。 1-1-5「まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用」です。 土地の利活用に関する整備方針を作成し、土地利用や宅地開発等の促進、企業進出の受け皿づくりを進めています。 指標は2種類設定しています。 「空家改善数（計画期間累計）」の達成状況は「中」です。空家所有者への適正管理に対する助言書の通知や、民間事業者と協定を締結し、官民連携による啓発活動などにより空家の改善に至ったケースが増えたことが要因と考えられます。 「景観条例指導件数」の達成状況は令和5年度に引き続き、「達成」となっています。事前協議を丁寧に実施したことで、景観条例を逸脱するような行為を未然に防ぐことができたことが要因と考えられます。 3ページをご覧ください。 1-2-1「市内における交通手段の確保」です。 地域公共交通に係る各交通手段の相互連携や利便性の向上に取り組んでいます。 指標は2項目設定しています。 「市内公共交通利用者数」の達成状況は「達成」となっています。乗り合いタクシーと民間バスの利用者が減少しましたが、基幹バスの利用者が増加しました。 「バス運行状況の満足度」の達成状況は「低」となりました。民間事業者による路線減少による影響が要因と考えられます。
-----	---

事務局

4 ページ、1-3-4 「強靱化対策の推進」です。

行政機関や指定避難所等へ停電対策を検討し、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。指標は「国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数」で、達成状況は「達成」です。防災対策を推進してきたことによるものです。

5 ページ、2-2-1 「地域脱炭素化の推進」です。

家庭や事業所での省エネに関する啓発、再生可能エネルギーの利用促進などに取り組んでいます。

「再生可能エネルギーの導入量」、「山武市役所における温室効果ガス（CO₂等）排出量」、「木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量」、「省エネへの生活様式平均実践項目数」の4指標すべての達成状況が「低」となっています。

「山武市役所における温室効果ガス（CO₂等）排出量」は、めざそう値には届かないものの、職員の省エネ実践により昨年度から大きく改善しました。

「木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量」は搬出された木材量に比例して増加したものとされます。

7 ページ、3-1-2 「担い手の育成・支援」です。

農業の持続的な発展に向け、担い手不足の解消や農地の集約化などに取り組んでいます。

「農用地利用集積率」の達成状況は、微増しているものの「低」となりました。

「新規就農者数（計画期間累計）」の達成度は「高」となり、順調に推移しています。

8 ページ、3-1-5 「森林再生の推進」です。

山武市森林整備計画に基づき森林整備を推進するとともに、サンプスギのブランドの価値を高める取組を推進しています。

「森林整備事業年間実施箇所数」の達成状況は「達成」となりました。

「市補助制度を活用し、搬出された木材量」の達成状況は「低」となりましたが、市の補助金により小規模な森林整備が増加しています。

9 ページ、3-2-1 「経営体の体質強化・育成と市内消費の推進」です。

市内の中小企業等の経営体質を強化することで、地域経済の活性化及び地域の雇用の増加に取り組んでいます。

「市内で日用品や食料品を買う市民の割合」の達成状況は「低」となりました。地域内で使用するクーポン券の発行がなかったことで、例年通りの消費となったことが考えられます。

事務局

「新規法人登録件数(計画期間累計)」の達成状況は「中」です。景気動向の影響を受け、前年度より低調となったものと思われます。

「法人市民税の増加事業所割合」の達成状況は「達成」しました。めざそう値を達成したものの、景気動向の影響を受け、前年度より低下したものと思われます。

11 ページ、3-2-2 「工業の振興」です。

成田空港の機能強化や圏央道の全面開通を活かし、企業誘致に取り組んでいます。

「市内工業団地の従業者数」の達成状況は「低」となりましたが、若干ながらも増加しています。

「従業員一人当たりの製造品出荷額(4人以上の事業所)」は例年7月下旬に公表されている「2024 年経済構造実態調査」の公表が遅れているため、現時点では不明となっています。

12 ページ、3-2-3 「成田空港経済圏の形成」です。

成田空港や成田空港関連企業への就業者の増加を図ることで、山武市への定住促進に取り組んでいます。

「成田空港周辺自治体としての取組件数」の達成状況は「低」となっています。産業用地に関する調査を開始しましたが、終了しなかったため、増加しませんでした。

「成田空港内で働く市内従業員数」の達成状況は「－」となっています。令和4年2月以降、成田国際空港株式会社による調査が実施されていないことが要因です。

13 ページ、3-3-1 「魅力ある観光事業の推進」です。

千葉県と協力し、蓮沼海浜公園の再整備を進めることで、地域への誘客の促進と持続的な観光振興に取り組んでいます。

「主要施設の年間来客者数」の達成状況が「低」、「広域(県)、民間事業者との連携事業数」、「体験型観光利用者数」の達成状況がそれぞれ「高」となっています。

どの指標も、前年度より鈍化していることから、上昇した観光需要が落ち着き始めているものと思われます。

14 ページ、4-1-1 「生きがいくくりと介護予防の推進」です。

介護予防対策を継続実施することで、将来的な社会保障費の低減に向けて取り組んでいます。

事務局	「社会参加している高齢者の割合」の達成状況は「中」、「生きがいを持っている高齢者の割合」の達成状況は「低」、「要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢」の達成状況は「高」となっています。 「社会参加している高齢者の割合」と「要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢」については、コロナ禍からの活動の再開に伴い、順調に推移していますが、「生きがいを持っている高齢者の割合」については、状況は改善しつつも低調な結果となりました。 16 ページ、4-3-1 「心身の健康管理の充実」です。 すべての市民が自ら健康づくりに取り組む環境の整備に取り組んでいます。 「1人当たりの健康づくり取組項目数」の達成状況は「低」となりました。 20代から40代の取組状況が低下したことが要因となっています。 「人口10万人当たり自殺率」の達成状況は「達成」となっています。関係課・関係機関との連携を強化し支援したことが要因と思われます。 17 ページ、4-3-6 「医療体制の充実」です。 さんむ医療センターの新病院を計画通りに供用開始することで、近隣の医療機関や介護施設と連携し、切れ目ない医療の提供に取り組んでいます。 「かかりつけ医を持っている市民割合」の達成状況は「達成」、「休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合」の達成状況が「高」となりました。市民の医療に対する関心度の高さが要因と考えられます。 18 ページ、4-4-6 「次世代育成に係る家族形成の支援」です。 家族形成に対する意識の醸成と結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりに取り組んでいます。 「出生者数」の達成状況は「低」となっています。国全体で出生者数が低下しており、当市も増加が難しい状況です。 「結婚する意欲のある独身者の割合」の達成状況は「低」となりました。ライフスタイルの多様化が減少の一因であると考えられます。 19 ページ、5-1-5 「教育環境の整備」です。 教育環境・施設を整備し、学力の向上に向けて取り組んでいます。 「学校施設の不具合による学校生活支障件数」、「安全な給食を確実に提供できなかった件数」、「複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数」の達成状況は、すべて「達成」となりました。 学校統合・施設整備などを計画的に実施していることで、教育環境を維持できたことが要因と考えられます。
-----	--

事務局

22 ページ、6-2-3 「市の魅力発信の強化」です。

様々な媒体を通じて効果的に市の魅力を発信することで、山武市への関心を高め、観光客や移住者等の増加に取り組んでいます。

「SNS 等による市からの情報発信件数」の達成状況は「低」となりました。長尺コンテンツの需要が相対的に減少傾向にあることで公式 YouTube の視聴回数が低迷したことが要因となっています。

「市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数」の達成状況は「達成」となりました。ふるさと納税寄附者が増加したことによるものです。

23 ページ、6-3-3 「健全な財政運営」です。

人口減少や高齢化、社会環境の変化に対応しながら、公共サービスを支える健全な財政運営に取り組んでいます。

「経常収支比率」、「経常経費に占める一般財源の割合」は「達成」となりました。「経常収支比率」は地方交付税などの経常的収入が増加となったことが要因です。

また、「実質公債費比率」については、現在数値が未取得となっております。

24 ページ、6-3-5 「公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進」です。

公共施設等総合管理計画に基づき、人口や財政規模に合わせた公共施設の適正化に取り組んでいます。

「市保有の土地活用率」の達成状況は「達成」となりました。イベント等への一時的な貸付けの減少により、前年度と比較すると土地活用率は低下しましたが、めざそう値と同程度の運用ができています。

「公共施設維持管理費」については、現在数値が未取得となっております。

最後、25 ページ、6-3-6 「自治体 D X の推進と市民サービスの向上」です。

市役所業務へのデジタル技術の導入によって、市民の利便性や満足度の向上と行政運営の効率化に取り組んでいます。

「市の ICT サービスを利用している市民の割合」の達成状況は「低」となりました。「ICT を活用した行政サービス・行政事務の改善件数及び新規導入件数」の達成状況は「高」となりました。

「ICT を活用した行政サービス・行政事務の改善件数及び新規導入件数」は、「書かない窓口」や「行かない窓口」の導入によって、ICT 化が進展しています。

事務局

以上 20 の基本事業が、第 3 次総合計画の重点分野として設定したものとなります。

続いて、【資料 1－2】「第 3 次山武市総合計画 令和 6 年度施策・基本事業評価結果」をご覧ください。

こちらの資料は、すべての施策・基本事業について、環境変化と課題、成果指標、施策の内容と達成状況などが記載された資料となりますが、本日は時間の都合上、事務局からの説明は割愛させていただきます。ご了承願います。

続いて、【資料 1－1】「第 3 次山武市総合計画の達成状況（暫定版）[令和 7 年 7 月現在]」をご覧ください。

こちらの表は、第 3 次総合計画 6 政策の、23 施策に設定してある 41 指標、さらにその下の、104 の基本事業に設定してある 205 指標の目標達成状況を、一覧に示したものでございます。

左側から政策名、そして政策ごとに施策、基本事業、基本事業のうちの重点分野の 3 段書きとなっており、それぞれの指標数、令和 6 年度の目標達成度、達成率、令和 5 年度の目標達成度、達成率を記載しています。

達成度の欄の「－」としているところについては、達成度の評価ができない指標となっており、現時点で指標値が取得できていないものも含んでいます。

表のいちばん下、合計の行をご覧ください。

令和 6 年度の施策の成果指標で、「達成」となったものは 12 指標で、達成率は 29.3%です。

基本事業の成果指標については、「達成」が 70 指標、達成率は 34.1%となっています。

重点分野については、「達成」が 14 指標、達成率は 31.1%となっています。

右側の令和 5 年度と比較すると、ほとんどの政策において成果は向上しております。

しかしながら、重点分野は達成状況にあまり変化がないため、今後、より効果的な施策展開が必要と思われます。

事務局	また、重点分野として設定した基本事業については、市の経営資源を重点的に配分するなど、メリハリのある行財政運営を進め、総合計画で掲げる政策の実現に向けて、市民のみなさまとともに、取り組んでまいりたいと考えております。 なお、本日、ご説明させていただいた、令和6年度の評価結果につきましては、最終的な取りまとめをし、未取得の成果指標を反映させたいうえ、まちづくり報告書として、一般に公表する予定です。 説明は以上となります。
金子会長	事務局から、資料に基づき（１）山武市総合計画の進行管理について、説明がありました。 こちらは、第3次山武市総合計画の2年目の結果について報告があったところです。 委員の皆さま方から、ご不明点等があればお受けしたいと思います。 ご質問を中心に、何か確認したい事柄がございましたら、挙手のうえ、ご発言をお願いします。 木島委員をお願いします。
木島委員	資料の中で、「基準値と比較して～、前年度と比較して～」という文章構成となっていますが、文章に少々違和感があります。 例えば、「基準値より高く、前年度と比較して●件増加」などの方が文章として自然ではないでしょうか。
事務局	よりわかりやすい文章にしていく上で参考にさせていただきます。
小川委員	【資料1－1】について、令和5年度の実績及び、令和6年度の実績を掲載していますが、この実績では、民間企業の場合、叱責されてしまうような内容だと思います。 実際コロナ禍の影響も大きかったのではないかと思います。そのようなことが市民の方へ分かりやすく示すことができるよう、例えば令和4年度以前の実績も掲載するなど、資料の工夫はどうでしょうか。

事務局	第3次山武市総合計画が令和6年度から計画期間が始まったため、第3次総合計画の計画期間内の2か年分で比較をしております。 令和4年度以前は第2次総合計画の計画期間となるため、指標の数も異なることから単純な比較は難しいと考えられます。 しかしながら、参考的な数値として出すかなど、資料の改善について、今後検討いたします。
小川委員	ありがとうございます。 続いて、【資料1－3】2ページ、「景観条例指導件数」の指標について、ここで記載されている”事前協議”とは具体的にどのようなことを行っていますか。
並木建設環境部長	高さ10m以上を超える建築物や延床面積500㎡を超える建築物など、対象となるものにおける高さや色、素材など細かい部分までヒアリングを行い、事前に調整しております。 事前の調整や協議を実施したことで、最終的な段階での指導件数は0件となりました。
小川委員	ありがとうございます。 事前協議を丁寧に行ったおかげで指導件数が0件という点は大変喜ばしいことだと思いますが、むしろ事前協議の方が重要なのではないかと感じます。 山武市総合計画審議会に出席する際、九十九里の方から海沿いを走ってきますが、この住宅大丈夫かなと思うところもあります。 その点景観条例については大丈夫なのかと思うことがあり、今回質問いたしました。 続いて、【資料1－3】22ページ、ふるさと納税寄附金額について、令和5年度から4倍以上に増加しています。 総計審の委員としても、山武市の取り組みを支えたいと考えております。 これだけ成果として伸びているのであればもっと強調しても良いのではないかと思います。

荒木総合政策部長	商工会や観光、農業など様々な業界の方々のご協力をいただき、また、市でも事業者さんから新たな返礼品の発掘を積極的に行ったことで、返礼品のメニュー増加につながり、寄附額が増加したと考えております。 現在は、米やハマグリなどの海産物が人気のメニューとして定着しており、今後も引き続き頑張っていきたいと思います。
大国委員	令和6年度に引き続き、公募委員として参加いたします。 【資料1－1】について、重点分野は市のリソースを投入し取り組んでいると思われませんが、令和5年度から令和6年度にかけて、達成率があまり向上していないように見受けられます。 ここに何か理由はありますか。
事務局	おっしゃる通り、重点分野は経営資源を重点的に投入しております。しかしながら、重点であるがゆえに困難な指標も多くなっていることが要因だと思われれます。 指標については、令和9年度実績をめざそう値として設定しており、2年目時点ではまだまだ未達成のものも多くございます。 引き続き経営資源を重点的に投入し、第3次総合計画が終了した際、高い達成率になるよう取り組んでまいります。
坂巻委員	【資料1－3】18ページ、出生者数について、国全体でも減少しているため、山武市でも減少している旨の記載がありますが、山武市独自の課題はありますか。 例えば、分娩可能な施設がないという話題がありましたが、その後の取り組みとしてはどうなのか、などそのような内容も、具体的な施策を展開していく上で有効かと思えます。
荒木総合政策部長	ご意見ありがとうございます。山武市としてはどうなのか、という視点も取り入れた書き方を考えていきたいと思えます。

竹宮保健福祉部長	お話にありました山武市での分娩についてご説明いたします。 山武市内ではこれまで、さんむ医療センターにて分娩を行っていましたが、令和6年2月から分娩を休止しております。 助産師さんの不足が要因であり、特に夜勤ができる助産師さんがなかなか確保できない状況です。 市では現在、産後のケアに関する事業を積極的に取り組んでおります。産後、育児等に悩むお母さんやお父さんの相談や、ショートステイを安価に利用できるよう補助金を用意するなどしております。 特に産後1か月以内が重要だと聞いているため、このような事業に注力し取り組んでおります。
坂巻委員	現在も市内で分娩ができないとのことでしたが、どこで分娩されているか調査は行っていますか。
竹宮保健福祉部長	近隣では、東千葉メディカルセンター（東金市）や、旭中央病院（旭市）、千葉市内での分娩が多いかと思われます。
今井委員	私は小学校でPTAの副会長を務めております。 先ほど、産後ケアに注力しているとのことでしたが、特に重要となる産後1か月、親は病院にまで行けないと思います。 産後すぐの赤ちゃんを外には連れ出せないため、病院に行くには見てくれる家庭の人が必要です。また、昔は、産後1か月は水すら触ってはいけないとも言われていました。 それなら、助産師さんがお母さんのところに訪問してあげる方が良いと思います。また、訪問を通して、山武市が住みやすいというイメージにもつながるのではないかと思います。 私はPTAに8年間所属していますが、近年の急激な少子化の要因として、市内で分娩できないということが一番大きいのではないかと思います。 仕事をするお母さんたちにとって、産婦人科がもっと近くにあれば活性化していくのではないかと思います。

竹宮保健福祉部長	ご意見ありがとうございます。 市では、生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に、山武市役所に所属している助産師や保健師が訪問し、現在の状況や悩みごとを聞きながら必要な支援へつなげていく事業を行っております。 また、産後ケア事業のひとつでも、希望する家庭へ助産師が訪問し、お母さん方のサポートを行っております。 これらの事業などを通して、安心して産み育てられるまちを実現するために、やれることからやっていきたいと考えているため、引き続きご協力をいただければと思います。
小川委員	私事で恐縮ですが、娘が小学1年生になり、学校や学童に連れていっております。また、PTA 活動などを通し、初めて生活者という視点で学校教育に関わることとなりました。 長いこと総計審の委員を務め、学力の向上など、教育者としての視点から学校教育を眺めてきておりますが、生活者の視点から学校を見ると全く違う絵が見えました。 学校は使い勝手が悪いと思います。文部科学省をはじめとして、子どもたちへの指導は増えており、娘の体重は16kgですが、ランドセルの重さが10kgもありました。加えて、荷物を学校に置こうにもスペースが小さいです。
小川委員	現場からの視点が抜けているなど考えさせられることがあります。 次期総合計画を策定する際は、教育に限らず、生活者、利用者の視点も盛り込んだ内容にしてほしいと感じております。
内田教育長	教育の施策はとにかく、教育者側から見た施策を作りがちです。 次期総合計画を策定していく際は、利用者、生活者からの視点も考えていきたいと思います。 また、ランドセルの件につきまして、昨今、ランドセルでなくても布製の軽いものでも良いだろうと問題になってはおりますが、まだまだ市内の学校でもほとんどの子どもたちがランドセルを使用しております。 しかしながら、持ち帰りの必要性については改善されつつあり、学校に置いて良いもの、帰って使うものと、分けて考えるようになってきております。 今後も引き続き改善していければと思うため、ご協力をお願いいたします。

金子会長	＝休憩＝ 【６．議題（２）第４次山武市総合計画策定方針について】 それでは再開させていただきます。 続きまして「（２）第４次山武市総合計画策定方針について」に移らせていただきます。 それでは事務局から、説明をお願いします。
事務局	第３次山武市総合計画は、令和８年度で計画期間が終了するため、山武市総合計画条例に基づき、次期総合計画の策定を進めております。本日は策定方針についてご報告いたします。 【資料２】をご覧ください。「１．策定の背景」についてご説明いたします。当市は平成１８年３月に誕生して以降、人口減少が継続しており、地域経済を支える人材の不足を招いています。地域では区・自治会などの住民組織の活力低下や、地域コミュニティが有する共助機能や防災力の低下が懸念されています。 また、国では令和７年６月に「地方創生２．０基本構想」を閣議決定し、その中では人口減少が続く事態を正面から受け止め、社会・経済が機能する適応策も講じるとされています。 これらの背景を踏まえ、社会情勢の変化や多様化するニーズ、新たな課題などに対応するため、第４次山武市総合計画を策定いたします。 次に、「３．計画の名称」をご覧ください。次期総合計画の名称は「第４次山武市総合計画」といたします。 次に、「４．策定の基本的な考え方・コンセプト」について、成果指標を設定し、ＰＤＣＡサイクルによる行政経営を推進する（１）、及び、市長の施政方針の反映のため市長任期と連動した総合計画とする（２）については現在のものから継続いたします。 次のページに移り、「（３）人口減少に対応した総合計画」は、第４次総合計画におけるコンセプトとして、新たに盛り込んだ内容です。

本項目は、地方創生 2.0 基本構想でも掲げられていた、人口減少が続く事態を正面から受け止めることに関連し、人口や税収の減少に対応した歳出構造への転換及び、暮らしやすいまちづくりの両立をめざすために、賢く縮むという意味の「スマートシュリンク」や、規模が縮小したとしても、市民の暮らしの充実、及び質的向上を目指すという意味の「縮充」などの考え方を取り入れます。

また、歳出構造の転換については、行財政改革との連動を図り、基本構想中のまちづくり指標として、行財政改革に関する指標を追加します。

(4)、選択と集中によるメリハリのある市政経営を行うため、注力すべき重点分野を設定する点、及び、(5)の各種計画と連携した体系や、同一の指標を用いる点についても、第3次総合計画から継続します。

「5. 計画の構成と期間」をご覧ください。第4次総合計画は第3次総合計画を継承し、基本構想、基本計画、実施計画の3つの計画で構成します。

このうち、基本構想の計画期間を令和9年度から令和16年度までの8年間といたしました。

県内の他自治体の多くも、基本構想の期間はおおむね10年前後となっており、当市においても、第1次総合計画では10年間としておりました。一方、第2次総合計画では、時代潮流の変化への迅速な対応や、市長任期と合わせることから4年間へ短縮した経緯があります。

しかしながら、山武市総合計画条例では、基本構想は「市が目指すべきまちづくりの方向性を示すもの」とされており、市の歴史や自然などの地域的特性、土地利用構想など、普遍的な要素が示される内容となっております。

これらの要素は、短期間で大きく変わるものではなく、中長期的な視点でまちづくりの方向性を示すものであることから、計画期間を4年間の基本計画×2回分の8年間といたしました。

なお、時代潮流への変化などに対しては、4年後の基本計画改訂時に内容を確認し、必要に応じ見直しを行うことで、柔軟に対応してまいります。

基本計画及び実施計画については、第3次総合計画の内容を継承しています。基本計画は、市長の任期と合わせた4年間、実施計画は3年間の計画を毎年見直す「ローリング方式」を採用しております。

次のページ「(2) 基本計画の名称と計画期間」をご覧ください。第4次総合計画では、基本構想の計画期間を8年間としたことにより、基本計画は、令和9年度から令和12年度までの前期計画、令和13年度から令和16年度までの後期計画の2期体制となります。

事務局	次に、「６．市民等への周知・共有」をご覧ください。第３次総合計画と同様に、計画書並びに概要版を作製するとともに、市広報紙（広報さんむ）でも一部掲載いたします。 また、従来ホームページでは PDF 版のみ掲載しておりましたが、第４次総合計画ではパソコンやスマートフォンなどから電子書籍のように閲覧できる「電子ブック」を掲載することを計画しております。 次に、「７．計画策定の体制」をご覧ください。本項目については第３次総合計画から継続しております。 （１）の庁内体制としては、各部長等で構成する庁議にて策定を進めます。 （２）の市民参画としては、まちづくりアンケートの実施や、第４次総合計画のパブリックコメントを予定しております。 （３）の審議機関としては、山武市総合計画条例に基づき、当会議体である、総合計画審議会にて、計画内容の調査及び審議や、諮問及び答申を予定しております。また、条例に基づき、基本構想は山武市議会にて議決を経ることとします。 最後のページ、「８．計画策定のスケジュール」をご覧ください。 令和７年度については、今後庁内にて政策・施策について検討を行い、令和８年２月ごろの第２回総合計画審議会にて進捗の説明等を予定しております。 令和８年度では、６月に第１回総合計画審議会を計画しており、この審議会にて第４次総合計画の諮問を予定しております。 また、令和８年度は合計３回の審議会の開催を計画しており、令和９年１月に予定している第３回総合計画審議会にて答申をいただくことを予定しております。説明は以上になります。
金子会長	事務局から、資料に基づき（２）第４次山武市総合計画策定方針について、説明がありました。 ご質問やご意見、何か確認したい事柄がございましたらご発言お願いします。
小川委員	「６．市民等への周知・共有」中の”電子ブック”とはどのようなものを考えていますか。

事務局	いわゆる電子書籍のように、スマートフォンなどでスワイプすると次のページに行くような形を想定しております。 市では、SAMMU MAGAZINE などにおいて、同じような形で活用しており、総合計画においても導入できればと計画しております。
小川委員	令和の時代に古めかしい話のような印象を受けました。 電子ブックも読む人は読むと思いますが、短めの動画などの方が良いのではないかと個人的には思います。 チャット GPT などの AI も活用して、外国人にも対応したものが作れるのではないかと思うため、可能であれば検討していただきたいです。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。
木島委員	チャット GPT という話がありましたが、山武市の施策を考えるうえで、人間が考えるだけではなく、AI を活用する構想はありますか。
事務局	策定に関する今後の流れとして、庁内での職員説明会を経て、各部署と連携して施策体系や、さらに中身の部分を検討してまいります。 その中の、アイデア出しの手段のひとつとして、AI の活用も視野に入れていきたいと思っています。
高橋委員	第3次総合計画の策定した際は、コロナ禍の影響により、書面開催の会議が多かったと記憶しています。第4次総合計画を策定する際は、総計審に限らず、庁内でもしっかりと議論していただきたいと思っています。 さて、先ほどもさんむ医療センターで分娩ができないとの話がありましたが、非常に重要な問題だと思います。助産師さんを採用しても、分娩を行っていないから退職してしまう悪循環になっている状況です。 この点、取扱いが難しいかと思いますが、第4次総合計画を策定する際は、分娩数を指標にするなど、積極的な検討をしていただきたいと思っています。

竹宮保健福祉部長	計画を策定するうえで、さんむ医療センターとも連携しながら進めていきたいと考えているため、今後ともよろしくお願いいたします。
内山委員	第3次総合計画でも重点分野に設定されていますが、観光振興をするにあたって、どのような産業を主として、どのような観光を推進し、その結果どのようなことを求めていくのかという観光のビジョンを考えていく必要があると思います。 観光入込客数だけではなく、例えば観光消費額や関係人口、移住・定住にもつながってくると思います。 また、【資料1－3】中でも、SNSやYouTubeなどの情報発信や、視聴回数が減ってきているという話もありましたが、若い人をターゲットにするのであればSNSも重要な要素のひとつだと思います。どの媒体をどう使うかで視聴者層も変わってくると思います。
神谷産業振興部長	ご意見ありがとうございます。 観光については単純に来てもらうだけでなく、様々な視点が出てきます。 観光に伴った商業の発展や、同じ人に何度も山武市に来てもらう点、また、定住にもつながってくると思うため、今後多面的に考えていきたいと思います。 今後ともご協力よろしくお願いいたします。
高田委員	【資料1－1】中では、令和6年度における施策の達成率が29.3%、基本事業は34.1%と説明がありましたが、民間の会社に勤めている身としては、自分の会社だったら相当叱責されてしまうと思います。 そのため、第4次総合計画を策定する際は、めざそう値が適正なのかどうか、第3次総合計画の実績とも比較して決めていく必要があると思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。 今後策定を各部署と進めていくうえで、適正な数値となるよう第3次総合計画までの実績や、職員の経験なども踏まえ、検討していければと思います。 高すぎても低すぎても計画としての実行性に欠けてしまうため、各部署との熟議が重要になると思っております。

嶺委員	さんむエコノミックガーデニング推進協議会の嶺と申します。 今後計画を策定するうえで、実際に活動している現場の声の反映が必要だと思います。 また、それを活かしていくためには、現場で活躍されている方々が計画を認識し、自分たちの目標、めざすべき場所がわかるということも重要だと思います。 その他、人口が減少している状況の中、やはり住むところがないと人口も増えないため、家を建てたり、空き家の活用など、推進してほしいと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。 この点についても、現場の声に一番近い各担当部署から吸い上げてもらえるような声掛けなどをしていければと思います。 また、人口減少の点についても、移住定住施策や、空き家の利活用、住宅施策など担当部署や、地域の方々と協力していければと思います。
佐藤委員	ひとりの主婦としての意見になってしまいますが、この数年で近所の魚屋さんが2軒、高齢化で閉店してしまいました。昔から地元にある商店をつぶさないような取組をしていただきたいです。 また、山武市に美味しいパン屋さんが欲しいという意見をよく耳にします。パンを買うために少し遠出するという話も聞くため参考をお願いします。 さて、私は山武市保健推進委員協議会として、子育て支援や高齢者の健康寿命を延ばすことをめざして、行政とともに活動しています。 心配な点が2つあり、1つ目は、少子化がどんどん進行している点です。出生率も増加するよう取り組んでほしいですが、今回気になったのは、【資料1－3】の中で説明のあった、結婚する意欲のある独身者の割合が少ないことです。 加えて、先日の新聞で山武市役所の男性の育児休業取得率が低いという記事を見ました。 男女ともに、結婚や子育ての希望をかなえることができるように取り組んでいただきたいと思います。

佐藤委員	2つ目は、外国人との共生です。私の身近にもおり、多くの方々はこれから山武市で生活したいと話していました。共生できるような体制を作っていけると良いと思います。
荒木総合政策部長	冒頭、魚屋さんやパン屋さんのお話がありましたが、商工会さんとも、市では何ができるのかなど、ともに考えていければと思います。 結婚する意欲のある独身者や多文化共生など、多分野にわたって、今回いただいたご意見を参考に今後の計画策定に取り組んでいきたいと思っています。
並木委員	住民感覚や市民感覚がこれからは更に重要になってくるんじゃないかと思います。行政目線だけの表記ではなく、住民自らが毎年数値を追いたくなるような表記があっても良いと思います。 また、計画に関して、第2次総合計画から第3次総合計画にかけてコロナ禍の影響により、多くの事業がとん挫したと思います。これからの計画では早い対応力も必要になってくると思います。 指標についても、市民から見てもわかりやすい、伝わりやすい指標にし、市民がより意見を言いやすい形になると良いと思います。
戸村委員	先ほど嶷委員が仰っていた”現場の声が重要になる”という点について強く共感いたしました。 現場の声を吸い上げるというのは、キャッチボールのようなものではないかと思います。 投げるボールが難しいとなかなか戻ってこないため、資料などで平易な言葉を使うなど、表現の仕方を工夫してほしいと思います。 例えば、ファシリティマネジメントという単語は市民の方々からにとっては聞きなじみがないと思われます。 みんながわかるような表現は難しいと思いますが、なるべくキャッチボールが戻ってくるような資料作りをしていただけると良いと思います。
金子会長	では最後に大高副会長からお話をいただければと思います。

大高副会長	私の立場としては商工会長であるため、市とも協力してめざそう値に一步でも近づくように努力をしていかなければならないと思っております。 ご提案もしたいと考えておりますが、例えば【資料１－３】の中で、成田空港内で働く市内従業員数という指標では、めざそう値が 700 人となっております。 今年度から成田空港共生委員会というものを山武市商工会の中に組織しましたので、市と話し合い、同じベクトルを向いて活動したいと考えております。 また、700 人雇用してほしいという要望、声を空港などに届けていくことも必要になると思っております。 ふるさと納税に関しては、また新たな人気商品を作っていかなければと考えている中で、高校生が考える返礼品ができないか、成東高校や松尾高校へも提案しております。 高校を卒業し、市外で活躍されている方々が出身校への愛着のひとつとして寄附に結び付かないかと考えております。 最後に先ほど話にあったパン屋さんの件については、キッチンカーや一坪店舗を活用したチャレンジ事業を繰り返すことで、商店等の活性化に結び付けば良いと思います。 委員の皆さんや行政の皆さん、それぞれが主体となって山武市を良くしようと意見がたくさん出れば、より良いものに回っていくかと思っています。 商工会としても、今後ともよろしくお願いいたします。
金子会長	では最後に、私が今日感じたことを 3 点申し上げたいと思います。 1 つ目は現場の声を反映という言葉が何度か出てきましたが、都市計画関係の学会でも、昨今住民主導のまちづくりという言葉がキーワードになっています。 いわゆる行政主導のまちづくりから住民参加型のまちづくりと言われており、山武市でも現場の声を聞いて、まちづくりを進めていくことが重要かなと感じました。
金子会長	2 つ目は少子化の話とさんむ医療センターの話が何度か出てきました。私が山武市にお世話になり始めた 13 年前の議論でも、さんむ医療センターの話が繰り返し出てきておりました。

金子会長	さんむ医療センターの話で感じた点として、さんむ医療センターが新しくなり、何が変わって何が変わらなかったのか、何の課題が改善したのか、今なお残る課題は何か、ということを冷静に分析してあり方を見直すことが、少子化対策にもつながっていくのかなということを感じました。 3つ目は、この審議会は農業、教育、観光など様々な分野の方々が参画しておりますが、それぞれの分野とまちづくり全体は連動しており、例えば、観光を考えると結局まちづくり全体を考えることなんだと思います。 個別の部分とまちづくり全体は表裏一体であり、部分を考える事は全体を考える事であり、全体を考える事は部分を考えることだだと思います。 この審議会では、部分と全体の往復運動を皆さんとしていきたいと感じました。
金子会長	他、ありますでしょうか。 無いようですので、それでは、一切の議事が終了しましたので、ここで議長の任を解かせていただきます。 ご協力ありがとうございました。
石田企画政策課長	【7. その他】 長時間にわたるご審議、ありがとうございました。 最後に、次第の7「その他」になります。事務局から今後の会議予定等について、ご連絡させていただきます。
事務局	今年度は第4次山武市総合計画の策定に向け動き出す年であり、年明け2月ごろに2回目の会議を予定しております。 2回目の会議では、総合計画の策定に関する進捗をご報告させていただく予定です。 会議日程等が決まりましたら、委員の皆さまへ通知をさせていただきます。お忙しいところ恐縮ですが、ご出席をよろしくお願いいたします。
石田企画政策課長	【8. 閉会】 以上をもちまして、令和7年度第1回山武市総合計画審議会を閉会いたします。 長時間にわたりまして、ありがとうございました。

【16時10分】